

平成27年度 第3回安曇野市社会教育委員の会議 会議概要

- 1 審議会名..... 第3回安曇野市社会教育委員の会議
- 2 日 時..... 平成28年3月16日(水) 午後2時00分から午後3時40分まで
- 3 会 場..... 安曇野市役所 共用会議室305
- 4 出 席 者..... 細田利章委員、平田米子委員、小穴廣光委員、荻原義重委員、三澤知子委員、松尾明保委員、山崎敦子委員、今村勝人委員、伊藤正住委員、林公也委員、倉科明生委員、山崎美子委員
- 5 市側出席者..... 橋渡教育長、北條教育部長、生涯学習課蓮井課長、文化課那須野課長、図書館交流課高嶋課長、社会教育担当藤森係長、社会教育担当小笠原係長、スポーツ推進担当久保田課長補佐、豊科地域課横川係長、穂高地域課曾根原課長補佐、三郷地域課竹内係長、堀金地域課大林係長、明科地域課山越課長補佐、文化振興係山田課長補佐、文化財保護係山下課長補佐、博物館係西山係長、図書館交流担当小林課長補佐、図書館交流担当財津係長、社会教育担当臼井主査、社会教育担当小澤主事
- 6 公開・非公開の別..... 公開
- 7 傍聴人 0人..... 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日..... 平成28年3月30日

協 議 事 項 等

【会議概要】

- 1 開 会
- 2 あいさつ
細田議長
橋渡教育長
- 3 協議事項
(1) 平成28年度 事業計画について
 - ・生涯学習課
 - ・地域課
 - ・文化課
 - ・図書館交流課
- (2) その他
- 4 閉 会

【協議事項】

- (1) 平成28年度 事業計画について
 - 《生涯学習課各係長より説明》
 - 《地域課各係長より説明》
 - 《文化課各係長より説明》
 - 《図書館交流課各係長より説明》

(委員)

豊科公民館事業費の童謡祭りと、穂高公民館事業費の信州安曇野わさび祭りについて、予算額が明記されていない理由を教えてください。また、穂高交流学習センター費の『市民「マイ・コレクション」展 (Part2)』が2つあります。2つ目の (Part2) は、(Part3) の誤りだと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)

文化団体等運営及び活動支援で、童謡祭り実行委員会へ補助金として50万円を支出しています。童謡祭りに関しては、教育委員会と童謡祭り実行委員会の共催となっています。会計は実行委員会で扱っていますので、ここには記載していません。

(事務局)

信州安曇野わさび祭りですが、こちらもわさび祭り実行委員会がありまして、実行委員会で予算立てをし、経費を賄っています。

(事務局)

御指摘いただきましたとおり、穂高交流学習センター費の『市民「マイ・コレクション」展 (Part 2)』は、『市民「マイ・コレクション」展 (Part3)』の誤りでした。申し訳ございません。また、穂高交流学習センター費の『市民「マイ・コレクション」展 (Part2)』の内容の説明のなかで、平成27年度となっているのは平成26年度の誤りです。

(委員)

豊科地域さわやか市民運動会のように参加人数が増えて盛んになってきているところもあれば、穂高地域市民運動会のように平成28年度は取りやめてしまうということをお聞きしまして、どういうことで参加人数が増えてきているのかというような、地域間で情報交換がされているのかについて教えてください。

(事務局)

市民運動会につきましては、種目などの内容についての情報交換はしています。そういうものを参考にして、実行委員会がこれならば参加をしていただけるのではないかという方向で、毎年種目の若干の変更をしています。他地域は地区公民館単位で参加をしていますが、穂高地域の場合、区の単位で参加をしています。地区公民館対抗にする方向で調整をした経過もあるようですが、年々、選手を集めるのが大変になってきて、参加する区が減少傾向にあるというのが穂高地域の実情です。平成27年度は市制施行10周年記念ということでしたので、12の区の参加をいただいて市民運動会を実施しました。平成28年度につきましても減少傾向があるなかで、参加する区が半分以下になってしまったため、実行委員会で検討してこのような結論に至りました。

(委員)

体育協会が法人化されたとお聞きしました。体育協会が法人化によってどのような組織になったのか、財政基盤はどうか、主な事業としてどのようなことを考えているのか教えてください。

(事務局)

体育協会は、まだNPO法人化について県に申請しているところで、平成28年度中にNPO法人化する予定です。組織も少し変わりました。これまであった地域体育協会がなくなり、その代わりに生涯スポーツクラブや競技別の団体が入ります。事業自体は、スポーツ教室などを開催してその参加費を財源として運営していくなど、主体事業をもっと拡大していきたいと考えています。

(委員)

それぞれの事業計画についての御説明をいただいて、わくわくしたような気持ちになりました。今後、事業を進めていく上で、評価の基準がはっきりしていないと、ただ実施したで終わってしまうと思います。社会教育委員として、参加できる場所へ参加するというのも大切だと思います。

(委員)

先日、貞享義民顕彰会が高齢化で運営ができないので解散するという記事が、新聞に掲載されていました。このことについて、貞享義民記念館とタイアップすることは可能でしょうか。

(事務局)

貞享義民顕彰会は、義民の顕彰と併せて宗教的な行事やお祭りも行っていましたので、行政が受け入れるというのは実際には難しいです。三郷地域に奉賛講という貞享義民の顕彰グループがありまして、そこも含めて受け入れ先を探しているという記事が新聞に掲載されたと思います。

(委員)

公民館事業費と中央公民館事業費がありますが、これは予算上で分けたと思いますが、いかがでしょうか。また、中央公民館はどこにその事務所があるのかをお聞きしたいと思います。

(事務局)

それぞれの地域の特性をもった事業につきましては、それぞれの公民館の名称のついた公民館事業費に予算を計上しています。また、全ての公民館の講座の講師謝礼を中央公民館事業費に一括計上してい

ます。中央公民館の場所ですが、安曇野市公民館条例上では、穂高公民館が中央公民館として位置づけられています。ただし、中央公民館長は生涯学習課長が務めていまして、中央公民館の職を兼ねている職員の所在地もこの本庁舎となっているのが現状です。

(委員)

豊科交流学習センターの新規事業の「世界まるごとHOW TO 国際人」というネーミングですが、日本語と英語が混ざったネーミングはいかがなものかと思います。英語ならば英語、日本語ならば日本語のネーミングがよろしいと個人的に思います。

(2) その他

《社会教育委員に配布したイベントのチラシについて、各担当から説明》

《社会教育委員一人ひとりから任期満了の御挨拶》

《橋渡教育長から、社会教育委員へお礼の御挨拶》

【終了】